

CLIL Content and Language Integrated Learning 内容言語統合型学習 (CLIL) による これからの語学教育ワークショップ

21世紀のヨーロッパで急速に広まっている最新語学教育法クルル (CLIL: Content and Language Integrated Learning) を紹介します。その目的は、CLIL の考え方を理解し、教室での活用法を探ることで、語学教育のみならず、専門教育の質も向上させることにあります。



講師陣は日本に CLIL を導入する上で、先駆的な役割を果たしています。

CLIL のアプローチでは、「言語教育」と「教科教育」を統合し、第二言語、第三言語、ときには第四言語で教科内容を学びます。たとえば、ポーランドの学生が英語で地理を学ぶ、ノルウェイの学生がドイツ語で芝居を学ぶ…といった例があります。



教科を母語以外の言語で学ぶことにより、教科知識・語学力・思考力・コミュニケーション力を統合して育成する CLIL 型学習は、画期的な学習法として近年注目されています。今回の研究会では、CLIL の実情を知り、日本で CLIL を実践する際の可能性や課題について、参加者で討論し、考えます。



開催日: **2013年7月6日(土) 15:00 ~**

講師: 上智大学文学部英文学科・言語教育研究センター准教授

池田 真 Makoto Ikeda

上智大学文学部英文学科助教

リチャード・ピナー Richard Pinner

上智大学言語教育研究センター常勤講師

逸見 シャンタール Chantal Hemmi

討論参加: 東海大学外国語教育センター准教授

入江 恵 Kay Irie

場所: **専修大学サテライトキャンパス
スタジオA**
アトラスタワー向ヶ丘遊園2F
(小田急線向ヶ丘遊園駅北口 徒歩1分)

1. CLILとは何か?(池田)
2. CLILの授業体験(ピナー)
3. CLILの実践方法(逸見)
4. 討論(全員)

使用言語: 英語・日本語

進行: 専修大学経済学部教授
スティーブン・ライアン
Stephen Ryan

無料・申込不要

問い合わせ先: 専修大学LL事務室
✉ lloffici@gkk.senshu-u.ac.jp